

事務事業チェックシート

事務事業No 701 事業名 姉妹都市交流事業（高等学校）（バイカースフィールド市、リッチモンド市、済州市との交流）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進

事業種別	継続	
事業期間	～ 永年	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	市立和歌山高等学校	勝本 泰弘(461-3690)
関連課	内外交流課・学校教育課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	高等学校費		
	目	高) 学校管理費		
	大事業	高等学校費		
事項	姉妹都市交流事業（高等学校）			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	和歌山市の国際交流活動の一環である姉妹都市交流事業を通して本校の生徒の国際化を図るための事業	海外姉妹校であるカナダリッチモンド市の学生との交流				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		募集を行ったが姉妹都市高へ参加希望する生徒がなかった、	カナダ・リッチモンド市国際交流事業リッチモンド学生訪問団(生徒31人、引率者4人)が5/11～17日和歌山市を訪問。5/13に本校を訪問。 ・歓迎レセプション ・デザイン授業体験、クラブ体験 剣道部体験・書道体験、家庭クラブ実習体験(いちご大福づくり) 茶道体験		カナダ・リッチモンド市国際交流事業リッチモンド学生訪問団(生徒36名、引率者4人)40人が和歌山市を訪問予定。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	554	0	143	90	0	0	143			
伸び率 (%)	-	-	▲74.2%	-	▲100.0%	▲100.0%	-	-	▲100.0%	-
人件費	2,200	2,220	2,220	2,186			2,349			
正規職員										
正規職員以外							0			
小計	2,200	2,220	2,220	2,186						
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	554	0	143	90			143			
所要人数（人）	0.30	0.30	0.30	0.29			0.3			
正規職員										
正規職員以外										
主な予算内訳	消耗品費30千円・食料費113千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 姉妹校との交流の実施回数	回	目標値	1	1	0	1	
		実績値	0	1	0		
		達成度(%)	0.0%	100.0%	0.0%		
成果指標 参加者数	人	目標値	2	40	0	40	
		実績値	0	34			
		達成度(%)	0.0%	85.0%	0.0%		
		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	交流を通じて、よりお互いの理解を深め多様な文化が共生できるようになったかを評価した。
見直し・改善内容	今後も生徒の国際化を図るため交流を続けたい。